

養豚農業実態調査票(平成29年度)

一般社団法人日本養豚協会(JPPA)

1 調査目的

本事業は、養豚業におけるコスト削減や生産性の向上の取組等の実態を把握し分析することにより、養豚経営の体質強化に資することを目的に、農林水産省所管の独立行政法人農畜産業振興機構の補助を受け、一般社団法人日本養豚協会が実施するもので、全養豚生産者を対象にしております。

2 調査項目

経営の概況、繁殖・肥育等の成績、交配方法、経営の推移と今後の動向、衛生レベル、環境対策などについてお伺いいたします。

3 調査票記入についてのお願い

- ・調査票は原則経営体単位でご記入くださるようお願いいたします。
- ・ただし、複数の農場を経営しており、他の都道府県(以下「県」という。)にも農場を経営している場合は、県別に調査票に記入してください。
- ・また、同一県内に複数農場を経営しており、農場の経営タイプ等が異なるなどVI以下の設問について別に記入した方が良いと考えられる場合も別々の調査票に記入してください。(調査票については1部しか送付しておりませんが、お手数でも当会のホームページから打ち出すか当協会に電話で追加請求してください。)
- ・同一経営体で複数の調査票に回答した場合は、メインの調査票に1経営体全体としての設問の回答を記入するとともに、他の調査票には「I 経営者等」及び「V 経営養豚農場等数」を記入し、VI以下の設問に回答してください。
- ・必ずボールペン、万年筆、サインペンなど消えにくいもので記入してください。(鉛筆では記入しないでください。)
- ・回答は番号の()に○をするものと、□に数値を記入するもの、また、文章を記入するものがあります。□の数値の記入に当たっては、1つの枠に1文字ずつ右詰で記入してください。
- ・お手数ですが、経営中止された方又は廃業された方は、2頁に法人名等、経営者名、所在地を記入するとともに、2頁下段の注の該当欄に○を記入して返送してください。

4 調査票、調査結果の取扱いについて

- ・ご記入後は、同封の返信用封筒にいれ、**10月20日(金)**までに当協会あるいは返信用封筒の県組織までご投函下さるようお願いいたします。
- ・日本養豚協会及び県組織では、担当者が当協会及びそれぞれの県組織の「個人情報保護規程」(当協会<http://pig.lin.gr.jp>掲載)に従って管理するとともに内容確認を行います。
- ・データ入力、当協会の「個人情報保護規程」に基づき契約を交わした業者に依頼します。
- ・データは、当協会及び県組織の決められたコンピュータ上で担当職員のみ処理、閲覧が出来ないよう管理します。
- ・最終調査結果については、全国、地域(ブロック)別に集計、分析し報告書としてとりまとめます。(都道府県毎の集計や、個人情報は一切公表しません。)

5 報告書及び粗品の送付について

- ・ご協力いただいた方には、報告書及び粗品をお送りいたします。

【問い合わせ先】 一般社団法人日本養豚協会 (J P P A)

小磯 (E-mail:koiso@pig-pins.com)

湯浅 (E-mail:yuasa@pig-pins.com)

〒151-0053 東京都渋谷区代々木2-27-15高栄ビル2階

TEL : 03 (3 3 7 0) 5 4 7 3 / FAX : 03 (3 3 7 0) 7 9 3 7

I 経営者等

(フリガナ) 法人名等*	()	(フリガナ) 経営者名	()	性別 男 女 生年 大正 昭和 平成 西暦 年
<p>※ 有限会社、株式会社、合資会社等の法人格を必ず記入してください。また法人の中に養豚を統括する部署がある場合は部署名も記入してください。</p> <p>※ 個人経営の場合、「法人名等」は記入の必要はありません。</p>				
所在地	〒 - 都道市 区 府県 郡 町村			
電話番号		FAX番号		
メールアドレス**	@			
記入者名***	経営者との関係	連絡先(住所)	連絡先(メールアドレス等)	

*** メールアドレスの記入は任意ですが、極力記入をお願いいたします。

*** 記入者名は、経営者以外の方が記入した場合は記入をお願いいたします。また、この場合、住所、メールアドレス等連絡先を記入してください。

II 経営形態 (1から7の中から○は1つだけ)

1 () 個人経営 (家族労働主体)
2 () 農事組合法人
3 () 有限会社 (LLC法人を含む。)
4 () 合資会社・合名会社
5 () 株式会社
6 () 農業協同組合法人 (農協等) の直営養豚場
7 () その他 (都道府県、公益法人、学校法人等上記1から6以外)

●契約・預託農場であるか・否か (○は一つだけ)

1 () 会社、農協、民間養豚場等の契約・預託農場である。
2 () 会社、農協、民間養豚場等の契約・預託農場ではない。

III 養豚従事者数 (○はいくつでも)

1 () 家族労働 (経営主本人、配偶者、子、孫、きょうだい、父母、祖父母等) ..	<input type="text"/>	人
2 () 常勤雇員 (社員、契約社員、パート、アルバイト)	<input type="text"/>	人
3 () 非常勤雇員(必要な日、必要な時間で雇用)	<input type="text"/>	人
4 () その他(豚肉加工・販売など担当)	<input type="text"/>	人

(注) 経営を中止又は廃業されている場合は、法人名等、経営者名、所在地をご記入の上、下記該○を記入して返送してください。(この頁のみFAX可)

(1 () 経営中止、 2 () 廃業)

IV 後継者 (○は1つだけ、1又は2に○の場合は年齢を記入)

1 () 決まっている。..... (後継者の年齢 歳)

2 () 対象者はいるが、現在は決まっていない。 (対象者の年齢 歳)

3 () 自分の年齢が若いので考えていない。

4 () 後継者はいない・後継者は考えていない。

5 () 経営形態が後継者と関係ない。(株式会社等)

V 経営養豚農場数等

経営養豚農場所在県	養豚農場数	農 場 名	以下の農場についてVI以下の設問に回答
県名 ()	<input type="text"/>	() () () () () () () () () ()	左と同様 または 以下の農場 () () () () () () () () () ()
他の県にある経営農場数		(県名 (農場数)) (県名 (農場数)) (県名 (農場数)) (県名 (農場数))	

VI 経営タイプ (○はいくつでも) 【①()経営体全体について回答 ②()Vの右欄の農場について回答】(①又は②のどちらかに○、以下同じ)

1 () 一貫経営

ア () 一貫経営の繁殖農場

A () 純粋種豚生産農場

B () 純粋種豚と子取り用雌豚生産農場

C () 子取り用雌豚生産農場

D () 肉用子豚の生産農場

イ () 一貫経営の子豚育成農場

ウ () 一貫経営の肥育農場

エ () 一貫経営の一貫生産農場

オ () 一貫経営の豚人工授精所

2 () 繁殖経営

ア () 純粋種豚生産農場

イ () 純粋種豚と子取り用雌豚生産農場

ウ () 子取り用雌豚生産農場

エ () 肉用子豚の生産農場

オ () 豚人工授精所

3 () 肥育経営

Ⅶ 飼養頭数 (平成29年8月1日現在) 【①()経営体全体について回答 ②()Vの右欄の農場について回答】

1 女子取り用雌豚(育成豚を除く。)品種・品種組み合わせ別頭数

純粋種	品種	ランドレース /L	大ヨークシャー /W	中ヨークシャー /Y	パークシャー /B	デュロック /D	ハンブシャー /H	その他	計
	頭数								
交雑種	品種	LW	WL	※LW.WL何れか		※※その他の組み合わせ		海外ハイブリッド	計
	頭数						(※※※)		

※LWとWLの頭数区分が出来ない場合は合計数を「LW、WL何れか」に記入

※※「その他の組み合わせ」には、組み合わせ品種不明を含む。

※※※の()にはハイブリッド名を記入

2 ♂利用中の種雄豚(育成豚を除く。)品種・品種組み合わせ別頭数

純粋種	品種	ランドレース /L	大ヨークシャー /W	中ヨークシャー /Y	パークシャー /B	デュロック /D	ハンブシャー /H	その他	計
	頭数								
交雑種	品種	HD	DH	BD	DB	※その他の組み合わせ		海外ハイブリッド	計
	頭数						(※※)		

※「その他の組み合わせ」には、組み合わせ品種不明を含む

※※の()にはハイブリッド名を記入

3 育成豚(繁殖利用予定で未交配〈雌、雄〉のもの)	<input type="text"/>	頭
4 子豚(子豚舎、子豚豚房で飼養しているもの+哺乳中のもの) ..	<input type="text"/>	頭
5 肥育豚(肥育舎、肥育豚房で飼養しているもの)	<input type="text"/>	頭
6 飼養頭数合計(1~5の合計)	<input type="text"/>	頭

Ⅷ 出荷頭数等 (平成28年1~12月の総頭数) 【①()経営体全体について回答 ②()Vの右欄の農場について回答】

1 年間肉豚出荷頭数	<input type="text"/>	頭
2 繁殖豚(雄、雌)年間廃用頭数	<input type="text"/>	頭
3 年間肉用子豚出荷(同一経営の農場間移動を含む。)頭数 ..	<input type="text"/>	頭
4 種豚候補豚(純粋・F1等)の出荷(同一経営の農場間移動含む。)頭数	<input type="text"/>	頭

IX 肉豚出荷日数、出荷体重、枝肉重量 (平成28年1~12月の総頭数) 【①()経営体全体について回答 ②()Vの右欄の農場について回答】

1 肉豚出荷日齢平均 (生後日齢)	<input type="text"/>	<input type="text"/>	日齢
2 肉豚出荷生体重平均	<input type="text"/>	<input type="text"/>	kg
3 肉豚1頭当たり枝肉重量平均	<input type="text"/>	<input type="text"/>	kg

X 繁殖・肥育等の成績 【①()経営体全体について回答 ②()Vの右欄の農場について回答】

1 繁殖成績 (平成28年1~12月の平均)			
ア 1腹当たり(1分娩当たり) 平均哺乳開始頭数	<input type="text"/>	<input type="text"/>	頭
イ 1腹当たり(1分娩当たり) 平均離乳頭数	<input type="text"/>	<input type="text"/>	頭
ウ 平均育成率 (イ÷ア×100)	<input type="text"/>	<input type="text"/>	%
エ 平均受胎率 (受胎頭数÷種付頭数×100)	<input type="text"/>	<input type="text"/>	%
オ 平均分娩率 (分娩頭数÷種付頭数×100)	<input type="text"/>	<input type="text"/>	%
カ 母豚の年間平均分娩回数 (年間分娩数÷常時子取り用雌豚頭数)	<input type="text"/>	<input type="text"/>	回
2 年間肉豚出荷頭数の格付割合 (平成28年)			
ア 格付している割合			
A 日格協の格付 (年間日格協格付頭数÷年間出荷頭数×100)	<input type="text"/>	<input type="text"/>	%
B 自主格付 (年間自主格付頭数÷年間出荷頭数×100)	<input type="text"/>	<input type="text"/>	%
イ 格付していない(生体出荷)割合 (年間生体出荷頭数÷年間出荷頭数×100) ...	<input type="text"/>	<input type="text"/>	%
(格付けしていない理由:) 計	100	0	%
3 「上」物率 (平成28年)			
格付している肉豚の上物率 ((年間「極上」+「上」頭数)÷年間出荷頭数×100)	<input type="text"/>	<input type="text"/>	%
4 農場飼料要求率 (平成28年)			
農場飼料要求率 (期間飼料消費量÷期間増体重)	<input type="text"/>	<input type="text"/>	
5 事故率(離乳後から出荷まで (平成28年1~12月の平均)			
(期間内の離乳後から出荷時の事故頭数÷期間内の総離乳頭数×100) (○は1つだけ)	<input type="text"/>	<input type="text"/>	%
A () 前年より良くなった。			
B () 前年と変わらない。			
C () 前年より悪くなった。			

6 事故率改善の対策を実施していますか。 (ア又はイのいずれかに○)

ア () 事故率改善のための対策をした。

A () 豚舎の新築、改築	(枠内については○はいくつでも)						
B () 生産方式の変更							
C () 生産環境の改善							
D () 衛生対策							
<table border="1"> <tr> <td>a () 農場衛生HACCPの導入</td> </tr> <tr> <td>b () 疾病予防マニュアルの見直し、徹底</td> </tr> <tr> <td>c () 管理獣医師による検査と指導の導入</td> </tr> <tr> <td>d () 豚舎消毒の徹底</td> </tr> <tr> <td>e () 施設のゾーニング</td> </tr> <tr> <td>f () ワクチネーションプログラムの見直し、変更</td> </tr> </table>		a () 農場衛生HACCPの導入	b () 疾病予防マニュアルの見直し、徹底	c () 管理獣医師による検査と指導の導入	d () 豚舎消毒の徹底	e () 施設のゾーニング	f () ワクチネーションプログラムの見直し、変更
a () 農場衛生HACCPの導入							
b () 疾病予防マニュアルの見直し、徹底							
c () 管理獣医師による検査と指導の導入							
d () 豚舎消毒の徹底							
e () 施設のゾーニング							
f () ワクチネーションプログラムの見直し、変更							
E () その他(具体的に:)						

イ () 対策は実施していない。

XI 交配方法 【①()経営体全体について回答 ②()Vの右欄の農場について回答】

1 発情期の基本交配 (授精) (○は1つだけ)

- ア () 1回
- イ () 2回~3回
- ウ () 4回以上
- エ () 不明

2 交配方法 (○は1つだけ)

- ア () 自然交配のみ (人工授精は全く行っていない。)
- イ () 自然交配を主とし、人工授精を従としている。
- ウ () 人工授精を主とし、自然交配を従としている。
- エ () 人工授精のみ

3 交配方法の対象雌豚割合

ア 自然交配のみで交配している雌豚	<input type="text"/>	<input type="text"/>	<input type="text"/>	<input type="text"/>	%
イ 自然交配と人工授精を併用している雌豚	<input type="text"/>	<input type="text"/>	<input type="text"/>	<input type="text"/>	%
ウ 人工授精のみで交配している雌豚	<input type="text"/>	<input type="text"/>	<input type="text"/>	<input type="text"/>	%
計	1	0	0	.	0 %

4 人工授精を実施している方 (2でイ、ウ又はエと回答した方)

ア 精液の入手方法について (○は1つだけ)

- A () すべて自家産(同一経営の別農場産も含む。)
- B () すべて外部(都道府県試験場、民間人工授精所等)から購入
- C () 自家産と外部導入の併用

イ 生産、導入本数とボトルの容量 (平成28年)

A 年間自家生産本数 .. ボトル	<input type="text"/>	<input type="text"/>	<input type="text"/>	<input type="text"/>	本	一本の容量	<input type="text"/>	<input type="text"/>	CC
B 年間外部導入本数 .. ボトル	<input type="text"/>	<input type="text"/>	<input type="text"/>	<input type="text"/>	本	一本の容量	<input type="text"/>	<input type="text"/>	CC

5 人工授精の今後の意向をお伺いします。 (アからオの中から1つだけ○)

ア () 人工授精は今後も実施する。 (アに○をした方はAからCに1つだけ○)

A () 人工授精の割合を増やしたい。
B () 人工授精の割合を維持したい。
C () 人工授精を割合を縮小したい。

イ () 人工授精をやめたい。

ウ () 人工授精をすぐに導入する予定(導入したい。)

エ () 人工授精の導入を今後検討してみたい。

オ () 今後も人工授精の導入は考えていない。

XII 給与飼料 【①()経営体全体について回答 ②()Vの右欄の農場について回答】

1 飼料給与体系 (○は1つだけ)

ア () 市販配合飼料のみ (配合割合等を指定してメーカーに配合させたものを含む。)

イ () 市販配合飼料+自家配合飼料

ウ () 自家配合飼料のみ (単味飼料等(エコフィードを含む。)の原料を調達して自ら配合・調整したもの)

2 年間使用量 (平成28年度)

ア 配合飼料	<table border="1"><tr><td> </td><td> </td><td> </td><td> </td><td> </td></tr></table> t										
イ 飼料用米	<table border="1"><tr><td> </td><td> </td><td> </td><td> </td><td> </td></tr></table> t										
ウ エコフィード	<table border="1"><tr><td> </td><td> </td><td> </td><td> </td><td> </td></tr></table> t (<table border="1"><tr><td> </td><td> </td><td> </td><td> </td><td> </td></tr></table>) %										
食品残さの加工を行っている場合、食品残さ受入数量	<table border="1"><tr><td> </td><td> </td><td> </td><td> </td><td> </td></tr></table> t										

エ その他 (具体的な品名(複数回答有)と合計数量を記入)

具体名 :]	<table border="1"><tr><td> </td><td> </td><td> </td><td> </td><td> </td></tr></table> t					

【記入上の注意】

○ エコフィードは、食品工場から排出される食品製造副産物(パン屑、とうふ粕等)、スーパーやコンビニ等から排出される余剰食品(賞味期限切れ弁当等)、飲食店等から排出される調理残さ(カット野菜屑等)、農場残さ(規格外野菜等)を原料として、加熱乾燥、発酵、液状化(リキッド)等の加工処理により飼料化したものです。米ぬか、ふすま、油かす、ビートパルプは含みません。自ら、加熱乾燥、発酵、液状化(リキッド)等の加工処理を行っている場合は、食品残さ受入数量も記入願います。

○ 配合飼料の原料にエコフィードが含まれる場合は、「ウ エコフィード」に配合飼料の利用量を記入するとともに、エコフィードの配合割合をカッコに記入願います。
記入例: ウ エコフィード 2000t (10%)

○ MA米を使用している場合には、「エ その他」に記入願います。

3 飼料用米の今後の利用意向について、○印を1つ記入するとともに年間使用量（予定を含む。）を記入してください。

① () 飼料用米の利用を継続したい。

年間

--	--	--	--	--

 t 程度 (前頁2イと同じ)

② () 飼料用米の利用を拡大したい。

年間

--	--	--	--	--

 t 程度 (拡大後の総量)

③ () 新たに飼料用米の使用を始めたい。

年間

--	--	--	--	--

 t 程度 (使用予定数量)

④ () 飼料用米の使用を減らしたい。

年間

--	--	--	--	--

 t 程度 (減量後の総量)

⑤ () 飼料用米の使用を中止したい。

⑥ () 今後も利用しない。 (2のイが0 tの方)

4 飼料用米の取引価格 (取引があった最新時点 平成

--	--

 年

--	--

 時点)

(1) 買取価格

--	--	--

 円/ k g

(2) 加工委託した場合の加工費

--	--	--

 円/ k g

・加工委託した場合の加工費は買い取り価格に含まれますか。

① () 含む

② () 含まない

5 エコフィード利用の有無と今後の意向

(1) 利用の有無 (○は1つだけ)

① () 利用あり (利用ありに○をした方は、aからdをいくつでも○)

・エコフィードの利用形態

a () リキッドとして給与

b () ドライとして給与

c () エコフィードを原料に含む配合飼料として給与

d () その他 (具体的に: _____)

② () 利用なし (2のウが0 tの方)

(2) 今後の意向 ((1)で②と回答した方)

① () 現在、利用を検討中

(年間利用予定数量:

--	--	--	--	--

 t)

② () 今後、利用してみたい。

③ () 利用予定なし

XIII 経営の推移と今後の動向【①()経営体全体について回答 ②()Vの右欄の農場について回答】

1 飼養頭数の推移 (平成29年8月1日現在)

区 分	a 繁殖豚頭数	b 肥育豚頭数								
A 増やした(昨年8月1日と比較)	前年同日より <table border="1" style="display: inline-table; vertical-align: middle;"><tr><td style="width: 20px; height: 20px;"> </td><td style="width: 20px; height: 20px;"> </td><td style="width: 20px; height: 20px;"> </td><td style="width: 20px; height: 20px;"> </td></tr></table> 頭増					前年同日より <table border="1" style="display: inline-table; vertical-align: middle;"><tr><td style="width: 20px; height: 20px;"> </td><td style="width: 20px; height: 20px;"> </td><td style="width: 20px; height: 20px;"> </td><td style="width: 20px; height: 20px;"> </td></tr></table> 頭増				
B 変更していない (変更していない 場合()に○)	()	()								
C 減らした(昨年8月1日と比較)	前年同日より <table border="1" style="display: inline-table; vertical-align: middle;"><tr><td style="width: 20px; height: 20px;"> </td><td style="width: 20px; height: 20px;"> </td><td style="width: 20px; height: 20px;"> </td><td style="width: 20px; height: 20px;"> </td></tr></table> 頭減					前年同日より <table border="1" style="display: inline-table; vertical-align: middle;"><tr><td style="width: 20px; height: 20px;"> </td><td style="width: 20px; height: 20px;"> </td><td style="width: 20px; height: 20px;"> </td><td style="width: 20px; height: 20px;"> </td></tr></table> 頭減				
頭数を増やした理由	A () 計画していた豚舎が完成したので増頭した。 B () 後継者が経営に参加したので増頭した。 C () 1頭当たりの生産性が低下したので収入を守るために増頭した。 D () 委託、預託の農場を増やした。 E () 出荷先から増頭の要請があった。 F () 養豚生産者が減少しているので将来儲かりそうなので増頭 G () 事情により生産を縮小していたのを元に戻した。 H () その他(具体的に:)	A () 計画していた豚舎が完成したので増頭した。 B () 後継者が経営に参加したので増頭した。 C () 繁殖豚1頭当たりの生産性向上のため D () 委託、預託の農場を増やした。 E () 出荷先から増頭の要請があった。 F () 養豚生産者が減少しているので将来儲かりそうなので増頭 G () 事情により生産を縮小していたのを元に戻した。 H () その他(具体的に:)								
頭数を減らした理由	A () 疾病対策で豚を入れ替えるため B () 生産資材(飼料、光熱水料、薬品費等)の高騰で儲からないから C () 高齢化で労働が厳しくなったから D () 労働力が確保出来なくなったから E () 委託、預託農場となるため F () 廃業するため G () 飼料システム・経営形態の変更 H () 環境対策 I () その他(具体的に:)	A () 疾病対策で豚を入れ替えるため B () 生産資材(飼料、光熱水料、薬品費等)の高騰で儲からないから C () 高齢化で労働が厳しくなったから D () 労働力が確保出来なくなったから E () 委託、預託農場となるため F () 廃業するため G () 飼料システム・経営形態の変更 H () 環境対策 I () その他(具体的に:)								

2 養豚経営の今後の意向 (アからウの中から○は1つだけ)

ア () 経営を拡大する。 (○をした方はAからCのどれか1つに○)

- A () 今年中に規模拡大する計画がある。
- B () 4年以内に規模拡大する計画がある。
- C () 今後規模拡大を検討したい。

イ () 現状維持

ウ () 経営を縮小 (○をした方はAからEのどれか1つ○)

- A () 今年中に縮小する計画がある。
- B () 4年以内に縮小する計画がある。
- C () 今後縮小を検討したい。
- D () 今年中に廃業する計画がある。
- E () 近く廃業したいと考えている。

(DまたはEに○をした方はaからfの中からどれか1つ)

- a () 後継者がいないため
- b () 労働力が確保できないため
- c () 環境問題のため
- d () 負債があるため
- e () 生産資材(飼料等)の高騰で儲からないから
- f () その他(具体的に:)

3 生産コスト削減の取り組み

・生産コスト削減の取り組みに重要と考える項目について選択して下さい。(○は3つまで)

- ① () 規模拡大等によるスケールメリット
- ② () 飼料費
- ③ () 労働費
- ④ () 衛生費
- ⑤ () 建物・設備費
- ⑥ () その他(具体的に:)

XIV 外国人技能実習生に関すること【①()経営体全体について回答 ②()Vの右欄の農場について回答】

1 外国人技能実習生を受け入れていますか (ア,イのどちらかに○)

ア() 受け入れている

a 受け入れている実習生の国名 (○はいくつでも)

①()中国 ②()ベトナム ③()モンゴル ④()フィリピン ⑤()インドネシア

⑥() その他(具体的に:)

b 経営において実習生の役割 (○は1つ)

①()大いに役立っている ②()ある程度役立っている

③()役立っていない(具体的に:)

c 実習生の行う業務内容

具体的に:

d 紹介窓口となっている組織 (○はいくつでも)

①()公益社団財団法人 ②()商工会議所 ③()中小企業団体 ④()農業協同組合

⑤()その他(具体的に:)

イ() 受け入れていない

2 実習生を受け入れている(れる)ことについての問題点、意見等があれば記載願います。

問題点、意見等:

XV 環境対策 【①()経営体全体について回答 ②()Vの右欄の農場について回答】

1 畜産業関係の悪臭苦情の対応について

・ 過去1年以内に住民等から悪臭苦情が寄せられたことがありますか。 (A,Bのどちらかに○)

A () ある (○をした方はaからcの中から○は1つだけ)

a () 近隣の住民より直接

b () 県・市・町・村の公的機関を通して

c () その他(具体的に:)

B () ない

2 排せつ物の処理方法

・主に実施している処理に◎、付随的に実施している処理に○を記入してください。

処 理 方 法 ※1	分離処理		混 合 処 理
	ふん	尿	
堆肥化（開放式）※2			
堆肥化（密閉式）※3			
液肥化处理			
メタン発酵処理			
浄化处理			
下水道処理			
廃棄物として処理（処理方法不明）			
その他			

※1 他者に処理を委託している場合は、委託先での処理方法を選択してください。（例えば、生ふんを堆肥センターに運び、そこで開放式の堆肥化处理をしている場合は、「堆肥化(開放式)」を選択。

なお、委託先での処理方法が不明の場合は、「廃棄物として処理（処理方法不明）」を選択してください。

※2 堆積式、通風装置つき、攪拌機による堆肥化等、密閉式処理以外のもの。

※3 縦型コンポスト等、密閉式のもの。

2 水質汚濁防止法の特定施設の届出をしていますか。（A、Bのどちらかに○）

A () 届出をしている

・年1回以上、硝酸性窒素等について水質検査をしていますか。（a、bのどちらかに○）
 （※特定施設の届出をしており、排水水を公共用水域に排出している場合、排水基準に定められた事項（硝酸性窒素等など養豚に関係するもの）について、年1回以上、水質の測定・記録・保存が義務付けられています。）

a () はい

・水質検査の測定値を教えてください。

・硝酸性窒素等^{※1}
 (暫定排水基準:600mg/L)

mg/L

〔^{※1} アンモニア、アンモニア化合物、亜硝酸化合物及び硝酸化合物(アンモニア性窒素×0.4、亜硝酸性窒素、硝酸性窒素の合計量)〕

・窒素^{※2}(暫定排水基準:170mg/L)

mg/L

・りん^{※2}(暫定排水基準:25mg/L)

mg/L

^{※2} 窒素及びりんについては、規制対象地域外の場合は、ご記入は不要です。

b () いいえ

B () 届出をしていない（届出は不要である）

XVI アニマルウェルフェアについて【①()経営体全体について回答 ②()Vの右欄の農場について回答】

ア アニマルウェルフェア、動物福祉、または快適性に考慮した家畜の飼養管理(※)という言葉を知っていますか。

(A、Bのどちらかに○)

A () 知っている (○をした方はaからdの中から○は1つだけ)

- a () アニマルウェルフェアの考え方を取り入れている。
 - i () 「アニマルウェルフェアの考え方に対応した飼養管理指針(※※)」に従って取り入れている。
 - ii () 「アニマルウェルフェアの考え方に対応した飼養管理指針」には従っていない。
- b () アニマルウェルフェアについて何らかの対応を検討中または検討予定。
- c () アニマルウェルフェアについて具体的に十分理解していないので、さらに情報が欲しい。
- d () 聞いたことはあるが、内容をよく知らない。

B () 知らない

※アニマルウェルフェア (Animal Welfare) は、日本語では、「動物福祉」や「家畜福祉」と訳される場合があります。

しかし、「福祉」という言葉が社会保障を指す言葉としても使用されていることから、本来の「幸福」や「良く生きること」という考え方が十分に反映されておらず、誤解を招くおそれがあります。このため、「アニマルウェルフェアの考え方に対応した飼養管理指針※※においては、「アニマルウェルフェア」を「快適性に配慮した家畜の飼養管理」と定義しています。

※※ (公社) 畜産技術協会作成

イ 繁殖用雌豚の飼養管理にストールを常用(※)していますか。 (A、Bのどちらかに○)

※常用 = 基本的にストール飼いをやっている。

※※群飼育 = 基本的に群で飼育を行っている。(分娩予定日の1週間前から種付け後約4週間までストールを使用する場合を含む。)

A () ストールを常用している (○をした方はa、bどちらかに○)

- a () 今後、群飼育(※※)を検討したい。
- b () 今後も群飼育を検討する予定はない。

B () ストールを常用していない(群飼育をしている)

ウ 豚の出荷作業(積み込み、輸送、積み降ろし)は経営体自ら行っていますか。 (A、Bのどちらかに○、各枠内は○1つ)

A () 積み込み等(一部を含む)を自ら行っている。

- ・積み込み、積み降ろしの際、豚に不要なストレスを与えたりしない(たとえば、電気棒等を限定的に使用するとしても、目、口、耳、肛門性器部、腹部等敏感な場所には使用しない等)、けがをさせたりしないよう、丁寧な取扱いをしていますか。
 - a () している。
 - b () していない。

- ・輸送中、豚の衛生管理、安全の保持に努め、緊急等のやむを得ない場合を除いて急発進等を避けるなど、豚のストレス軽減に配慮していますか。
 - a () している。
 - b () していない。

B () 自ら行っていない(外部委託)

- a () 委託業者と契約等により豚にストレスを与えないように配慮している。
- b () 委託業者に任せている。

XVII 豚肉輸出 【①()経営体全体について回答 ②()Vの右欄の農場について回答】

あなたの生産している豚肉に係る海外輸出の取組みについて

(注) A, B, Cは自ら輸出する場合(輸出の収益が自農場に帰属する場合は。通関手続き、輸送等を一部委託する場合があります。)に○印をつけて下さい。(○は1つ)

- A ()すでに輸出している。 輸出国 () 年間

--	--	--	--	--

 t
- B ()輸出に向けて準備中 輸出予定国 ()
- C ()機会があれば輸出したい。 輸出希望国 ()
- D ()販売・出荷した豚肉が、販売先から輸出されたと聞いている。輸出先国 ()
- E ()特に考えていない。

XVIII 農場HACCP導入の取組みについて 【①()経営体全体について回答 ②()Vの右欄の農場について回答】

農場HACCPを導入していますか。(A、Bのどちらかに○)

A ()導入している。(○をした方はaからcの中から○は1つだけ)

- a () JGAP家畜・畜産物の取得を検討中。
- b () GAP取得チャレンジシステムに取り組むことを検討中。
- c () GAPの取組は予定していない。

B ()導入していない。(○をした方はaからeの中から○は1つだけ)

- a () 現在申請中。
- b () 導入を検討しているところ。
- c () 現時点で導入する予定はないが、今後検討したい。
- d () 導入予定はないがGAP取得チャレンジシステムに取り組むことを検討中。
- e () 導入予定はない。

XIX チェックオフ制度について 【①()経営体全体について回答 ②()Vの右欄の農場について回答】

豚肉における全国的なチェックオフの導入について (A~Eのうち○は1つだけ)

- A () 積極的に参加する。
- B () 徴収する額しだいで参加を検討する。
- C () チェックオフの徴収金で何をするかにより参加を検討する。
- D () すべての生産者が参加することが条件であれば参加する。

(A~Dに○をした方)

- 徴収するとした場合に妥当と思う金額(肉豚1頭あたり) (○1つ)
- ①() 50円未満 ②() 50円 ③() 100円 ④() 150円
- ⑤() 200円 ⑥() 201円以上

E () チェックオフについて情報が欲しい。

● **ご協力ありがとうございました。**